

思い出の1ページ



六栄小学校

見学旅行や集団宿泊教室に出かけました

1・2年生は「熊本市動植物園」へ、3年生は「水本オレンジガーデン」「果夢樹」へ、4年生は「通潤橋」「緑川ダム」へ見学旅行に出かけました。また、5年生は「豊野少年自然の家」へ1泊2日で集団宿泊教室に出かけました。それぞれの学年とも、現地でしか経験・体験できないことを見たり聞いたり、感じることができました。



町探検で施設見学や金魚学習をしています

2年生は町図書館や役場見学に出かけました。図書館では利用する人たちのことを考えたさまざまな工夫に驚いていました。役場では各階の仕事の様子を見学させていただきました。また、3年生は町名産の金魚の学習を行っています。先日コーディネーターの先生や町職員の人に協力していただき、金魚の養魚場やセリの様子を見学することができました。普段は見るできない場所や施設を訪問し、たくさん質問することもできました。



腹赤小学校

地域合同防災訓練が行われました

本年度から、腹赤小学校にも学校運営協議会（コミュニティスクール）が設置され、その大きな取り組みの柱が「防災教育の強化」です。

その基本的な考え方は、学校と地域、保護者、行政が連携して自分たちの命を守る、助け合う仕組みを創り上げていき、児童自身も、常に「防災・安全」の意識を持って、主体的に生活する資質や能力を育むことにあります。

さまざまな取り組みを積み重ね、11月21日に「地域合同防災訓練」を実施しました。

地域住民の「避難訓練」を最初に行い、体育館への避難後は「コロナ禍における避難所運営訓練」を行いました。実際に避難訓練を行うまでに、綿密な計画を立てたり、実施準備を丁寧に進めたりと、学校・地域・保護者・関係機関・行政の緊密な連携が築くことにつながりました。

避難訓練・避難所運営訓練と並行して、高学年児童による「災害図上訓練（DIG）の学習報告会」が行われました。内容は、これまで調べてきた校区内の危険箇所を地図にまとめたものを、地区ごとに1年生から4年生の児童に伝えました。できるだけ興味をもってもらえるようにクイズ形式にしたり、実物を示したりする工夫がなされました。

その後、地域の人や保護者を交えて、調査結果や学習したことを伝える場を設けました。ここで新たな情報をいただいたり、取り組みに対する評価を受けたりして有意義な時間をもつことができました。また、参加者からは、児童に対してたくさんのお褒めの言葉をいただき、達成感を感じていたようでした。

学校運営協議会としても、学校としても、今回の取り組みを振り返り、さらに充実した内容を検討していきたいと考えています。



避難訓練のようす



避難所運営訓練のようす



児童による学習報告会